

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度	
				科目コード	T-G01	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I			講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	植松 甫	
授業の目的・目標						
学校行事や就職活動など、通常の科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。 郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が狙いである。						
授業の概要						
コミュニケーションを深めるとともに、集団生活における個々の役割・分担を再確認する。						
成績評価の方法						
出欠席で評価する。					出欠席 100%	
使用テキスト・教材						
資料が必要な場合は配布する。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	入学式		2			
2.	オリエンテーション		4			
3.	ハイキング (春季)		8			
4.	終業式・前期成績発表		2			
5.	始業式・防災訓練		2			
6.	ハイキング (秋)		8			
7.	卒業研究発表会		2			
8.	進級発表		2			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動II		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
毎日の挨拶や授業、さらに始業式、終業式、ハイキング、企業見学や入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などが円滑に遂行できるように割り当てられた授業である。この授業を通し学生間、学生教員間のコミュニケーションを図ることを目的とする。					
授業の概要					
毎日の挨拶や授業の取り組み方の指導、さらに始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
成績評価の方法					
毎日の出席状況や行事の参加状況で判断します。 出席率 90%以上：優 出席率 80%以上：良 出席率 70%以上：可				出席率	90%
				生活態度	10%
使用テキスト・教材					
・参考：学生便覧					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	入学式	2			
2.	オリエンテーション	4			
3.	ハイキング (春季)	8			
4.	終業式・前期成績発表	2			
5.	始業式・防災訓練	2			
6.	ハイキング (秋)	8			
7.	卒業研究発表会	2			
8.	進級発表	2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅲ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
授業の概要					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
成績評価の方法					
出席点で評価。				出席点	100%
使用テキスト・教材					
特になし。					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
始業式		2	卒業研究発表会	2	
春のハイキング		2	進級発表	2	
春のハイキング		2			
春のハイキング		2			
春のハイキング		2			
終業式・前期成績発表		2			
始業式・防災訓練		2			
秋のハイキング		2			
秋のハイキング		2			
秋のハイキング		2			
秋のハイキング		2			
サイバー大学 講演会等		2			
サイバー大学 講演会等		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2021年度
		科目コード	T-G04

授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅳ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	30	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
授業の概要					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。					
成績評価の方法					
出席点で評価。				出席点	100%
使用テキスト・教材					

授業内容・授業計画

	時間数	時間数
始業式	2	
春のハイキング	2	
春のハイキング	2	
春のハイキング	2	
春のハイキング	2	
春のハイキング	2	
終業式・前期成績発表	2	
始業式・防災訓練	2	
秋のハイキング	2	
秋のハイキング	2	
秋のハイキング	2	
秋のハイキング	2	
サイバー大学 講演会等	2	
サイバー大学 講演会等	2	
卒業研究発表会	2	
進級発表	2	
その他	関連科目	
。		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
フレッシュマンセミナー		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	植松 甫
授業の目的・目標					
<p>沼津情報・ビジネス専門学校^の学生として、思いやりのある誠実な心（挨拶・時間・掃除）を意識し、基本的な生活態度を身につける。</p> <p>グループで考え行動することで、クラスメイトや同期生にたいしての仲間意識を持つ。</p>					
授業の概要					
<p>アクティビティやワークを繰り返す中で、楽しみながら沼情コンセプトを理解する。</p>					
成績評価の方法					
出欠席や授業態度等で総合的に評価する。				出欠席	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 1日目オリエンテーション（挨拶指導・自己紹介）			4		
2. 実習（クラス対抗50マス紹介）			2		
3. 2日目実習（クラス混合アクティビティ）			6		
4. 3日目実習（クラス混合アクティビティ）			6		
5. 学校の説明、学生便覧、教務既定の説明			10		
6. 後藤先生の「心の授業」			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントⅠ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	遠藤 有貴 植松 甫
授業の目的・目標					
社会人として必要な一般常識・知識を学ぶ。3年生から積極的な活動ができるように、就活・社会人訓練の一環社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。					
授業の概要					
就活・社会人訓練の一環として合同合宿をおこない、「就職意識向上」「グループ中の自分の役割・責務」「模擬面接会」などを通じて、スムーズな就活準備をします。					
成績評価の方法					
出席状況や授業態度、演習に対する成果内容で判断します。				出欠席	60%
				成果内容	40%
使用テキスト・教材					
・配布プリント類					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 合宿研修・模擬面接		24			
2. 適正試験対策		6			
その他			関連科目		
			キャリアディベロップメントⅡ 就活ゼミⅠ、就活ゼミⅡ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントⅡ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
インターンシップに参加し、社会人としての基本的なスキルを学ぶ。					
授業の概要					
社会人として求められる基礎的なスキルを訓練する。 企業の一員として働く体験をする。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価。				出欠席	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
講師作成テキスト					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 業界研究		2			
2. ビジネスマナー復習		2			
3. 志望動機の作り方		2			
4. コミュニケーションスキル向上訓練		4			
5. エントリーシート作成		4			
6. コミュニケーションスキル向上訓練②		4			
7. 個別面接訓練		4			
8. 集団討論演習①		4			
9. 集団討論演習②		4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			キャリアディベロップメントⅠ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就活ゼミ I		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	30	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身に着ける。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。					
成績評価の方法					
出席点や積極性で評価。				出席点	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
特になし。					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
働くということ・社会人としての自覚			2		
自己分析・自分の魅力探し			2		
就職活動の流れ			2		
Web サイトでの情報収集			2		
業界研究・企業研究			2		
求人票の見方、給与・保険制度			2		
職種研究			2		
筆記試験対策			2		
会社説明会			2		
電話、面接での問い合わせ			2		
履歴書の書き方			2		
面接指導			8		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就活ゼミⅡ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	30	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
就職活動をスムーズに行うための準備を行う。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。 また、筆記試験対策も随時行っていく。					
成績評価の方法					
出席点で評価。				出席点	100%
使用テキスト・教材					
特になし。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
筆記対策			10		
面接対策			10		
履歴書添削			10		
その他			関連科目		
。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミ I		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	各担当
授業の目的・目標					
<p>教養ゼミ I は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生はから選択し、身に着けることを目的に開講する。</p>					
授業の概要					
<p>各科の専門だけでなく幅広い教養を身につけ、学習の視野を広げることは、今後の社会に出たときにも役立つことが多いと思う。普段の授業ではできない教養を積極的に身につけてほしい。</p>					
成績評価の方法					
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。					担当毎
使用テキスト・教材					
教材は各講座により異なる（履修が決定後、連絡をする）					
授業内容・授業計画					
1. DTP 2. パーソナルカラー 3. 発想法 4. イラスト入門 5. 中国語 6. インタビュー 7. 本の手作り製本 8. ワープロ実務（準1級） 9. ワープロ実務（1級以上） 10. POPデザイン 11. ピアノ入門 12. フラダンス 13. 体育 I 14. 著作権 15. 運転と安全			時間数		時間数
			各 30		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅡ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	森 麻里
授業の目的・目標					
英語の正確な Hearing 力・ものおじしない Speaking 力を高め、 日常会話や旅行会話などその場の環境に応じてスムーズに話せるように学習する。					
授業の概要					
今まで習った単語や表現を使ったセンテンスや会話を聞き取り、自分の力で英語を話す機会を増やし、 英語を身近に感じる授業をすすめる。 クイズやチャンクを使って、英語で表現する楽しさを実感する。					
成績評価の方法					
授業態度 (積極や発言) 授業内で行う小テスト (3-5回)				小テスト	50%
				授業評価	50%
使用テキスト・教材					
授業で配布のプリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Speaking		10			
2. Listening (Hearing)		10			
3. Phonics		5			
4. Quiz&Chunk		5			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅢ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	各担当
授業の目的・目標					
教養ゼミⅢは各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために設けられた授業である。					
授業の概要					
普段の学科の学習では学習できない教養科目を複数の決められた講座から選択する。					
成績評価の方法					
出席状況や授業で行う小テストや期末テスト、課題の提出などで決定する。出席率70%以上が必須。					担当毎
使用テキスト・教材					
・各選択科目により異なる。					
授業内容・授業計画					
1. 各種選択科目の授業内容			時間数 30		時間数
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-G13
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅣ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	森 麻里
授業の目的・目標					
英語の正確な Hearing 力・ものおじしない Speaking 力を高め、その場の環境に応じてスムーズに話せるよう学習する。 TOEIC の Listening を体験し、英語のコミュニケーション能力を高める。					
授業の概要					
今まで習った単語や表現を使ったセンテンスや会話を聞き取り、自分の力で英語を話す機会を増やし、英語を身近に感じる授業をすすめる。 身近な記事などを速読し、大まかな内容を把握する。					
成績評価の方法					
授業態度 (積極や発言) 授業内で行う小テスト (3-5 回)				小テスト	50%
				授業評価	50%
使用テキスト・教材					
授業で配布のプリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		
				時間数	
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR01
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パソコン利用技術 I		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
この講義は入学後、パソコンの利用に慣れるために実施するものである。企業入社後や様々な環境への配属直後は IT 高度専門士として迅速な環境対応を要求される。それらに応じていくための模擬訓練と位置付ける。前半は標準的な PC セットアップやトラブルシューティングの方法を学習する。プリンタおよびネットワーク・インターネットへの接続方法、セキュリティへの考え方等、IT リテラシの向上に繋がる実践的な知識を習得する。後半はビジネススキルとして標準になりつつある Word、Excel、PowerPoint の操作に慣れ、今後スムーズな資料作成ができるようになることを目標とする。					
授業の概要					
スマートフォンが中心になった世の中において PC 操作に慣れていないという人も多い。また、個人で利用する周辺 IT 環境と組織内の IT 環境を利用することは以て異なるものである。情報倫理も踏まえた「実践的な講義」となるため、全員が高評価を取得できるように学習をして欲しい。					
成績評価の方法					
e ラーニング成績、授業態度、出欠、レポート課題で評価。				演習	30%
				レポート	50%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・教員作成のオリジナルプリント ・e ラーニング (ウィネット社/my トレーニング) 等 					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
1. PC セットアップ① (OS と初期操作)	2	10. e ラーニング学習① (my トレーニング)	2		
2. PC セットアップ② (NW とプリンタ)	2	11. e ラーニング学習② (my トレーニング)	2		
3. トラブルシュートとメンテナンス	2	12. 学習成果確認①	2		
4. モバイルデバイスとセキュリティ	2	13. プレゼンテーション①	2		
5. BYOD と情報倫理	2	14. プレゼンテーション②	2		
6. ストレージ (USB・外付 HDD・サーバ)	2	15. 学習成果確認②	2		
7. Windows 以外の情報世界	2				
8. Word 操作基礎	2				
9. Excel 操作基礎	2				
その他		関連科目			
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パソコン利用技術Ⅱ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・PCやモバイル機器、ノートPCなどのハード面、OSを中心としたソフト面、プリンターなどの周辺機器に関連した運用・管理、メンテナンスなどのスキルを学習する。 ・ITの世界共通資格「CompTIAA+」を受験できるまでのスキルを身につける。 					
授業の概要					
この授業では、エンドユーザーが利用するPCやネットワーク、セキュリティ/フォレンジックの基本を理解し、ハードウェアやソフトウェアを適切・安全に分析し、トラブルシューティングできる問題解決スキルを身につける授業や演習を行う。					
成績評価の方法					
小テストの結果、期末試験の成績、出欠席状況で評価。				小テスト	40%
				期末試験	60%
使用テキスト・教材					
パソコンの仕組みの絵本 (株)アंक著					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	CPUとチップセット		2		
3.	CPUとチップセット		2		
4.	メモリ		2		
5.	ハードディスク		2		
6.	いろいろな記憶装置		2		
7.	いろいろな記憶装置		2		
8.	映像とサウンド		2		
9.	入力と出力		2		
10.	プリンタ		2		
11.	周辺装置		2		
12.	ネットワークインターフェース		2		
13.	ネットワークインターフェース		2		
14.	PC組み立て		2		
15.	PC組み立て		2		
その他				関連科目	
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
表計算基礎		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	清 慶治
授業の目的・目標					
Microsoft Office Specialist (Excel2016) の資格取得を目的とする。					
授業の概要					
<p>模擬問題を解きながら、MOS 取得に必要な技能を養成する。 講義終了直後、クラス全員がMOS を受験する。 コマ数が少ないため、日頃から自主学習を行うことが望ましい。</p>					
成績評価の方法					
試験結果に出席率・授業態度などを考慮して評価。				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
日経 BP 社「MOS 攻略問題集 Excel2016」					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 模擬問題、実習データのインストール		2			
2. ワークシートやブックの作成と管理		4			
3. セルやセル範囲のデータの管理		2			
4. テーブルの作成		2			
5. 数式や関数を使用した演算の実行		4			
6. グラフやオブジェクトの作成		2			
7. 模擬問題 (練習モード)		6			
8. 模擬問題 (本番モード)		6			
9. 表計算の試験		2			
その他			関連科目		
<p>※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
表計算応用		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	吉田 文昭
授業の目的・目標					
マクロとVBAを中心に学習する。					
授業の概要					
授業は教科書中心に演習主体でおこなう。					
成績評価の方法					
出欠席、演習課題などで評価。				演習課題	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
仕事を速くするExcel VBA入門 日経BPムック 参考資料：「かんたん Excel マクロ&VBA 技術評論社」					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. マクロ作成基本、マクロとVBAの関係		2			
2. VBAプログラミング、イベントプロシージャ		2			
3. 変数と配列、条件分枝と繰り返し		2			
4. セル・行・列の操作		2			
5. シート、ブックの操作		2			
6. 表の操作、並べ替え、抽出、印刷		2			
7. ACCESS 活用術		2			
8. イベントプロシージャ活用術		4			
9. ユーザフォーム活用術		6			
10. 課題制作		6			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Office システム開発		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	吉田 文昭
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Excel VBA・マクロ等を使用したシステム開発演習。 ・ Office シリーズに共通な関数やVBA を用い、データ分析など業務効率化を図るのに有益なデータ処理方法やデータ分析手法を学ぶ。 					
授業の概要					
<p>1年次に学習した「表計算基礎」「表計算応用」を元に、演習主体の授業を行い簡単な業務改善を Excel で実現できるスキルを身につける。</p> <p>Excel は強力な開発言語 VBA を実装しており、それを使用したシステムを実現でき、授業では、与えられた課題をデータ分析など問題解決に役立つシステムの開発を行っていく。</p>					
成績評価の方法					
課題制作の成績、出欠席状況で評価。				期末試験	40%
				課題	60%
使用テキスト・教材					
「小さな会社の Excel VBA 業務自動化アプリケーション作成・運用ガイド」 武藤 玄 (著), 早坂 清志 (著), 植木 悠二 (著)、プリント配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 業務開発事例の説明			2		
2. Excel VBA について (開発ポイント)			2		
3. Excel VBA について (基礎知識)			2		
4. 現金出納帳			2		
5. 売掛金管理システム			2		
6. グラフ表示			2		
7. Web データの活用			2		
8. AccessDB の利用			2		
9. VBA の応用			2		
10. VBA の応用			2		
11. 課題制作			2		
12. 課題制作			2		
13. 課題制作			2		
14. 課題制作			2		
15. 課題制作			2		
その他			関連科目		
※プログラミング技術を学ぶのでアルゴリズムの知識が必要となる。			表計算基礎、表計算応用		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コンピュータ概論		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	渡邊 尚明
授業の目的・目標					
<p>仕事上での様々な問題を解決するために、最適な手法や数値を導き出すのに必要とされる知識を習得する。具体的には、情報処理試験に出題される情報数学や、経営科学的手法、数理的手法を学ぶ。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。</p>					
授業の概要					
<p>前項で示した学習内容は、企業経営を支援するときに必要とされる知識です。情報処理試験で必要となる応用数学や経営科学的手法が理解できるようになります。</p>					
成績評価の方法					
期末試験、出欠席で評価。				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (第1部 第3章 「経営科学」)、補足プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 応用数学 (集合、命題)			2		
2. 応用数学 (確率)			2		
3. 応用数学 (統計)			2		
4. 応用数学 (数値解析)			2		
5. 応用数学 (待ち行列)			2		
6. 応用数学 (グラフ理論)			2		
7. OR (線形計画法、日程計画)			2		
8. OR (在庫管理、発注方式)			2		
9. OR (ゲーム理論)			2		
10. OR (最適化問題)			2		
11. IE (経営工学) 分析手法			2		
12. QC (品質管理) 手法			2		
13. 業務分析 (データ収集技法、データ整理技法)			2		
14. 業務分析 (図解・グラフ、データ分析手法)			2		
15. まとめ、演習問題			2		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2021年度
		科目コード	T-SR07

授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソフトウェア		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	渡邊 尚明
授業の目的・目標					
ソフトウェアの体系、プログラム言語、言語プロセッサ、オペレーティングシステムなどの基礎知識を学ぶ。基本情報技術者試験、IT パスポート試験の合格を目指す。					
授業の概要					
学習範囲はかなり広範囲にわたりますが、基本情報技術者試験や IT パスポート試験で中心となる分野です。一步一步確実に理解していくことが大切です。					
成績評価の方法					
筆記試験 (出欠席状況、受講態度も評価に加味します)				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第3部 「ソフトウェア」)、補足プリント					

授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
1. ソフトウェアの分類	2		
2. ソフトウェアライセンスによる分類	2		
3. OSの機能と構成、OSの管理機能 (ジョブ管理)	2		
4. OSの管理機能 (タスク管理)	2		
5. OSの管理機能 (実記憶管理)	2		
6. OSの管理機能 (仮想記憶管理)	2		
7. OSの管理機能 (その他の管理機能)	2		
8. プログラム言語の分類	2		
9. 言語プロセッサ (種類)	2		
10. 言語プロセッサ (サービスプログラム、プログラムの属性)	2		
11. ファイルとレコード、ファイルのアクセス方式	2		
12. ファイルの編成方式、VSAM 編成ファイル	2		
13. 小型コンピュータのファイル管理、バックアップ	2		
14. まとめ	2		
15. 演習問題	2		
その他		関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ハードウェア I		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	渡邊 尚明
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者試験の合格レベルの知識を学ぶ。 コンピュータのハードウェアに焦点を置いた授業とする。 データ表現、主記憶装置、CPU、補助記憶装置、入出力装置まで学習する。 					
授業の概要					
授業は教科書中心に行う。特に計算問題などは基礎が必要なのでよく学習してほしい。資格の合格を目指して授業を行うため日頃の自習が望ましい。					
成績評価の方法					
出欠席および期末試験などで評価。				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
ITワールド (第一部) 栢木先生の基本技術者教室 補足プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. コンピュータの歴史、コンピュータの五大装置	2	12. 高速化技術、磁気ディスク	2		
2. データの表現	2	13. 光ディスク、入力装置	2		
3. 基数と基数変換 (2進数、8進数)	2	14. 出力装置、入出力制御方式、入出力 インタフェース	2		
4. 基数と基数変換 (2進数から10進数への基数 変換、10進数から2進数への基数変換等)	2	15. まとめ、演習	2		
5. データの表現形式 (文字データ、数値データ10進表記)	2				
6. データの表現形式 (数値データ2進表記、固定小数点数)	2				
7. データの表現形式 (数値データ2進表記、浮動小数点数、誤差)	2				
8. データの表現形式 (シフト演算)	2				
9. 中央処理装置の構成、主記憶装置の構成、 主記憶装置の構成要素、主記憶装置の容量拡張	2				
10. 命令とアドレッシング	2				
11. ALUの構成回路	2				
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ハードウェアⅡ		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	渡邊 尚明
授業の目的・目標					
コンピュータのハードウェア、特に情報処理システムに焦点を当てて、高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価、ヒューマンインタフェース、マルチメディアなどを学ぶ。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。					
授業の概要					
信頼性や性能の評価では計算が必要となりますので、考え方をよく理解する必要があります。練習問題およびその復習を通じて、一步一步確実に理解し、慣れていくことが大切です。					
成績評価の方法					
筆記試験 (出欠席状況、受講態度も評価に加味します)				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
ITワールド (第2部 「情報処理システム」)、補足プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 情報処理システムの処理形態		4			
2. 高信頼化システムの構成		4			
3. 情報処理システムの評価		6			
4. ヒューマンインタフェース		4			
5. マルチメディア		6			
6. まとめ、演習問題		6			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アルゴリズム基礎		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
プログラムを理解／作成する上で必要となる問題解決のための手順について学習する。前半はフローチャートによるトレースや基本的な処理の流れを追えるように学習を深め、後半は基本情報技術者試験を意識した擬似言語の学習を行う。変数、配列、比較処理、繰返し処理、2重ループ、文字列処理、探索処理、整列処理といったロジック思考の基礎を固めることを目標とする。					
授業の概要					
例年、ロジカルな考え方に付いていくことが難しい学生を多く見かける。反復練習、自己復習で十分に補える内容なので、途中で投げ出さずに定着を図ってもらいたい。テキストにも問題がたくさん載っている。自分で順番に解いていくことで実力はついてくるので、地道に一つひとつの問題を解いてアルゴリズムに慣れて欲しい。					
成績評価の方法					
期末試験・小テストの結果および出欠状況で評価。				期末試験	80%
				小テスト	10%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
データ構造とアルゴリズム インフォテックサーブ					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	イントロダクション		2		
2.	フローチャートと演算子		2		
3.	基本制御構造と繰返し処理		2		
4.	疑似言語理解①		2		
5.	疑似言語理解②		2		
6.	復習／演習Ⅰ		2		
7.	配列		2		
8.	ハッシュ		2		
9.	復習／演習Ⅱ		2		
10.	リスト操作 (データ追加)		2		
11.	リスト操作 (データ削除)		2		
12.	復習／演習Ⅲ		2		
13.	スタック		2		
14.	キュー		2		
15.	復習／演習Ⅳ		2		
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アルゴリズム応用		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	植松 甫
授業の目的・目標					
プログラムを作成する上で必要となる基本的なアルゴリズムとデータ構造について学習する。基本情報技術者試験への挑戦に向けて、疑似言語を中心とした練習問題を中心に講義を進める。状況によりプログラム言語Ⅱの講義とリンクして進めることもある。					
授業の概要					
疑似言語は基本情報技術者試験の突破には必要不可欠な分野だが、例年定着率が伸び悩む傾向にある。ロジカルシンキングは苦手な学生も多いが、試験突破・社会人としての基礎教養として確実に身に付けてもらいたい。					
成績評価の方法					
期末試験・小テストの結果および出欠状況で評価。				期末試験	80%
				小テスト	10%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
基本情報 STEP UP 演習 アルゴリズム対策 教員オリジナルの演習プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	基礎の復習		2		
2.	順位付け処理		2		
3.	線形探索		2		
4.	ハッシュ探索		2		
5.	2分探索		2		
6.	復習/演習Ⅰ		2		
7.	文字列比較		2		
8.	文字列転記		2		
9.	クイックソート		2		
10.	復習/演習Ⅱ		2		
11.	木構造		2		
12.	シェルソート		2		
13.	逆ポーランド記法		2		
14.	復習/演習Ⅲ		2		
15.	グラフ処理		2		
その他				関連科目	
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR12
授業科目名		授業形態		学科・コース	
システム開発基礎		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	指導教員A
授業の目的・目標					
この授業では、情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Webアプリケーション開発について学習する。ITパスポート、基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる知識を習得し、情報システム戦略の意義とシステム開発の方法・手順を理解することを目標にしている。					
授業の概要					
IT戦略とマネジメント(第3部、第4部)を使用して情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Webアプリケーション開発について学習し、補足プリント(要点の整理、課題や問題)や期末試験でその理解度を確認していく。					
成績評価の方法					
期末試験の成績と授業中に提出してもらった課題や問題回答の双方にて評価する。				期末試験	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント(第3部、第4部)、補足プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	情報システム戦略のプロセス (全体システム化計画)	2	11.	ソフトウェア開発手法、ソフトウェア設計手法(構造化設計)	2
2.	情報システム戦略のプロセス (情報化投資計画、情報システム戦略の実行)	2	12.	ソフトウェア設計手法(オブジェクト指向設計)、開発プロセス	2
3.	業務プロセスとソリューションビジネス	2	13.	知的財産適用管理、構成管理・変更管理、Webアプリケーション	2
4.	企画プロセス/開発計画	2	14.	まとめ	2
5.	要件定義プロセス/調達	2	15.	演習問題	2
6.	システム開発技術、システム開発プロセス	2			
7.	システム開発プロセス	2			
8.	ソフトウェア実装プロセス	2			
9.	ソフトウェア実装プロセス (ソフトウェア構築プロセス)	2			
10.	ソフトウェア実装結合プロセス、 保守・廃棄プロセス	2			
その他			関連科目		
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2021年度
		科目コード	T-SR13

授業科目名		授業形態		学科・コース	
データベース基礎		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	指導教員A
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、IT パスポート試験合格を目指します。データベースの種類、特徴、データベースモデル、3層スキーマの基本的な考え方やデータベース管理システムの目的、代表的な機能などデータベースの基礎的な学習を行います。					
授業の概要					
用語を覚えることを中心に学習します。更に情報処理試験でも中心となる分野です。一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。					
成績評価の方法					
筆記試験、出欠席で評価。				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
IT ワールド (第4部) 栢木先生の基本技術者教室 補足プリント					

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
1. データベースの概要① DB とファイルの違い、DB の設計 (データモデル)	2	9. "DB 管理システム (DBMS) DB トランザクション管理	2
2. DB 設計 (関係モデル) 関係演算 (選択、射影、結合、商)、集合演算 (和、差、積、直積)	2	(ACID 特性: 原子性、一貫性、分離性、持続性) "	
3. DB の概念設計 (E-R モデル)	2	10. SQL① データ定義① (DB の定義、テーブルの定義、ビューの定義)	2
4. DB の論理設計 (正規化の目的と手順)	2	11. SQL② データ定義② (アクセス権の定義、データの格納)	2
5. DB の論理設計 (第一正規化、第二正規化、第三正規化)	2	12. SQL③ データ操作① (条件指定のない参照、条件指定のある参照、グループ化)	2
6. "DB 管理システム (DBMS) DB 定義機能 (概念スキーマ、外部スキーマ、内部スキーマ) "	2	13. SQL④ データ操作② (データの整列、テーブルの結合、副問合せ他)	2
7. DB 管理システム (DBMS) DB 操作機能 DB 制御機能 (保全機能: 排他制御、デッドロック、セマフォ方式他) 機密保護機能: 暗号化、アクセス権、ログファイル他)	2	14. いろいろなデータベース (分散DB、データウェアハウス、その他関連技術)	2
8. "DB 管理システム (DBMS) DB 制御機能 (障害回復機能: ロールフォワード、ロールバック、ウォームスタート、コールドスタート他) "	2	15. 演習問題	2
その他		関連科目	

※実務経験がある教員が担当する科目である。

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR14
授業科目名		授業形態		学科・コース	
IT戦略とマネジメント		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	鈴木 孝昌
授業の目的・目標					
企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査、内部統制について学習します。					
授業の概要					
ITパスポート、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験に出題される問題について、その概要を理解し対応できる基礎知識と応用力を習得します。					
成績評価の方法					
学期末試験の成績で評価。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
IT戦略とマネジメント (第1部3章以外、第2部、第5部、第6部、第7部)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. 企業と法務 企業活動の目的	2	16. e ビジネス、民生機器と産業機器	2		
2. 企業の組織体系、経営管理	2	17. 前期期末試験	2		
3. 企業会計 損益計算書、損益分岐点分析	2	18. プロジェクトマネジメントの概要	2		
4. 知的財産権	2	19. 統合マネジメント、スコープマネジメント	2		
5. セキュリティ関連法規	2	20. タイムマネジメント、コストマネジメント	2		
6. 労働関連・取引関連法規	2	21. 品質マネジメント、リスクマネジメント	2		
7. その他関連法規	2	22. その他マネジメント	2		
8. コンプライアンス	2	23. サーマネジメント 概要	2		
9. 標準化と認証制度	2	24. サービスの設計・移行	2		
10. 経営戦略経営戦略手法	2	25. サーマネジメントプロセス、運用	2		
11. マーケティング	2	26. ファシリティマネジメント	2		
12. ビジネス戦略と目標評価	2	27. システム監査 目的と考え方	2		
13. 経営管理システム	2	28. システム監査の実施手順	2		
14. 技術開発戦略の立案、マネジメント	2	29. システム監査技法と報告	2		
15. ビジネス・エンジニアリングシステム	2	30. 後期期末試験	2		
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク基礎		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	小山 幸三郎
授業の目的・目標					
実際のお客様システムをベースに、「IT システムの全体構造とそれを支えるネットワークの基盤技術」を修得します。併せて基本情報技術者/IT パスポート資格の取得を目指します。					
授業の概要					
ネット/サーバプロトコル等の単体技術だけでなく、それらが「実際にどう組合わされ、どう動くのか？」の視点から「IT システムの全体」を捉えるようにして下さい。学習事項のいずれも重要であり、2 学年以降の学習や実 IT 現場で活躍するためのベースとなりますので、確実に理解するようにして下さい。					
成績評価の方法					
講座内での演習課題と前期期末試験および出欠席状況				期末試験	40%
				課題	40%
				その他	40%
使用テキスト・教材					
1)ネットワーク基礎テキスト(AP1.システム全体構造&インフラ,AP2.TCP/IP プロトコル,AP3.システムアクセスフロー&セキュリティ対策)					
2)演習課題/基本情報処理試験過去問題と解説					
3)基本情報技術者教室(第7章ネットワーク技術)					
4)IT ワールド(第5部ネットワーク)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. "イントラインタネットシステムの全体構造とそれを支えるネットワーク基盤技術"	2	9. TCP/IP-3>ARP/ICMP 機能,ネット管理 (SNMP/Ping/IPconf),<総合演習&まとめ>	2		
2. LAN-1>LAN 基本構造と接続形態,中継器の相違と選択,Ethernet とトラフィック制御	2	10. アクセス-1>イントラインタネットシステムの構造, DMZ/FireWall とセキュリティ対策	2		
3. LAN-2>L2sw 機能(MAC スッチング),L3sw/Router 機能(IP ルーティング),無線 LAN	2	11. アクセス-2>DNS 名前解決,WWW アクセスと環境設計,Proxy とインタネットアクセス	2		
4. WAN-1>WAN 接続と通信キャリア,高速デジ /ISDN/FR/ATM/IPVPN/広域 Ether 接続	2	12. アクセス-3>MAIL アクセスと環境設計,インタ ネットドメイン構造と RootServer	2		
5. WAN-2>同キャリアサービスの効果的選択,インタ ネット接続と VPN(暗号化)	2	13. アクセス-4>攻撃 (IPS/IDS,FW,Antivirus,WAF),脆弱性診断	2		
6. WAN-3>通信速度(データ量と転送時間、伝送制御 手順とコネクション/同期誤り制御	2	14. アクセストラブル切分け基本, <総合演習&まとめ>	2		
7. CP/IP-1>通信プロトコル(OSI,TCP/IP),TCP/IP 構造と MAC/IP/Port によるノード接続	2	15. 演習課題/基本情報技術者試験過去問題/テキスト 章末問題による総まとめとフォロー	2		
8. CP/IP-2>IP アドレスとサブネット,NAT/NAPT アドレス変換,TCP コネクション/UDP	2				
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報セキュリティ基礎		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	小山 幸三郎
授業の目的・目標					
実際のセキュリティ被害の事例をベースに「情報資産に対するセキュリティ対策の基本とその重要性」を修得すると共に、基本情報技術者/IT パスポート資格の取得を目指します。					
授業の概要					
現代社会を支えている IT システムの停止や情報漏洩は大きな社会問題となります。このため情報セキュリティに対する基本知識の修得は極めて重要です。多くの学習事項がありますが、「お客様の情報資源を守り、且つ必要な時に的確に情報提供するために何をすべきか？」の視点で学習に取り組んで下さい。					
成績評価の方法					
講座内での演習課題と後期末試験及び出欠席状況				期末試験	40%
				課題	40%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
1)情報セキュリティ基礎テキスト(AP4.情報セキュリティ基本/脅威/対策,暗号化/PKI 公開基盤,ネットセキュリティ,セキュアマネジメント) 2)演習課題,基本情報処理試験過去問題と解説 3)基本情報技術者教室 (第9章情報セキュリティ) 4)IT ワールド (第6部セキュリティ)					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. 情報セキュリティの基本(機密/完全/可用性),脆弱性と脅威(物理/人/技術),IPA 被害事例と教訓	2	8. 脅威&対策-3>演習課題&基本情報技術者試験過去問題による攻撃と対策まとめ	2		
2. ネットセキュリティ-1>システム全体構造(外部/DMZ/内部),主要構成コンポーネント(FW/IPS/WAF/Proxy..他)	2	9. 暗号&認証-1>暗号化の必要性と手法(共通/公開鍵方式,ハイブリッド暗号による課題解決)	2		
3. ネットセキュリティ-2>システムアクセス(イントラ/インターネット WWW アクセスと DNS/Proxy/Root/NAT/VPN..他)	2	10. 暗号&認証-2>正当性の確認(デジタル署名,認証局による公開鍵の正当性確認)	2		
4. ネットセキュリティ-3>システムアクセス(イントラ/インターネット Mail アクセスと POP/SMTP/DNSmx/Mail ルーティング..他)	3	11. 暗号&認証-3>公開鍵基盤 PKI の実装(SSL/TLS-www/SMTPS-mail アクセスの実例)	3		
5. ネットセキュリティ-4>システムアクセスまとめ,補足(Proxy/検疫/アクセスログ/モニタリング/運用管理/無線..他)	3	12. ユーザ認証>ワンタイムパスワード/バック2要素/付帯リスク..他、情報セキュリティマネジメントとリスク管理	3		
6. 脅威&対策-1>主要攻撃(標的型,Dos/DDos,Flood/踏み台,SQLインジェクション,XSS,CSRF..他)	2	13. 情報セキュリティ全体のまとめ 演習課題/基本情報技術者試験過去問題/テキスト章末問題による総まとめとフォロー	2		
7. 脅威&対策-2>主要攻撃(続き:DNSキャッシュポイズン,辞書..ソーシャルエンジニアリング,ウイルス/マルウェアと対策)	2				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR17
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語 I (Java 言語)		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	植松 甫
授業の目的・目標					
Java 言語を使ってオブジェクト指向言語の開発に必要なクラス、インスタンス、コンストラクタ等の内容を段階的に学習し、基礎的なプログラム作成ができることを目標とする。 基本情報処理技術者試験、Java プログラミング能力認定試験 3 級、理解力によっては 2 級に合格できる知識を習得することが望ましい。					
授業の概要					
講義ではパソコン上で実際にプログラム作成することを重視する。 小テスト・演習問題・テキストを確実に、かつ何回も解いていくことで理解が深まる。 理解不足の箇所があるとリカバリが難しくなるので、単元毎で確実に理解してほしい。					
成績評価の方法					
期末試験の結果及び演習課題の状況、出欠席等で評価。				期末試験	80%
				演習課題	10%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
「スッキリわかる Java 入門」 インプレス社					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. Java 言語と基礎知識	2	16. メソッドと main メソッド	2		
2. Java プログラムの基本構造	2	17. 引数と使い方	2		
3. 変数宣言の文	2	18. 戻り値の概念と使い方	2		
4. 計算文とオペランドと演算子	2	19. オーバーロード	2		
5. 型変換と命令実行文	2	20. 引数・戻り値と配列の組合せ	2		
6. プログラムの流れと書き方	2	21. ソースファイルの分割	2		
7. 条件式の書き方と分岐構文	2	22. 複数クラスで構成されるプログラム	2		
8. 繰返構文のバリエーションと文法	2	23. オブジェクト指向の必要性	2		
9. 制御構造の応用	2	24. オブジェクト指向の定義とクラス	2		
10. 配列のメリットと書き方	2	25. 継承・多態性・カプセル化	2		
11. 配列と例外	2	26. インスタンスとクラス	2		
12. 配列データをまとめて扱う	2	27. main メソッドのないクラス	2		
13. ガーベジコレクションと null	2	28. クラス定義とフィールド定義	2		
14. 多次元配列	2	29. インスタンスと様々なルール	2		
15. 復習①	2	30. 復習②	2		
その他		関連科目			
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2021年度
		科目コード	T-SR18

授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語II (Java 言語)		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	植松 甫

授業の目的・目標

プログラム言語 I の授業の続きを学習する。範囲としてファイル処理、AWT、Swing を使った Windows アプリの作成方法や DB との連携方法などを学習する。基本情報処理技術者試験、Java プログラミング能力認定試験 3 級、理解力によっては 2 級に合格できる知識を習得することが望ましい。

授業の概要

講義ではパソコン上で実際にプログラム作成することを重視する。小テスト・演習問題・テキストを確実に、かつ何回も解いていくことで理解が深まる。理解不足の箇所があるとリカバリが難しくなるので、単元毎で確実に理解してほしい。何故そうなるのか、という気持ちを持って自分でしっかりと考えることが大切である。

成績評価の方法

期末試験の結果及び演習課題の状況、出欠席等で評価。	期末試験	80%
	演習課題	10%
	その他	10%

使用テキスト・教材

「スッキリわかる Java 入門」 インプレス社

授業内容・授業計画

	時間数		時間数
1. クラス型と参照	2	16. カプセル化の基礎知識	2
2. コンストラクタ	2	17. アクセス制御と他クラス参照	2
3. 継承の基礎知識	2	18. private と public の定石	2
4. 継承のセオリーとオーバーライド	2	19. getter と setter によるフィールド操作	2
5. 継承とコンストラクタ	2	20. 静的メンバと Static	2
6. 先を考えた継承	2	21. ArrayList とイテレータ	2
7. 高度な継承と複雑な理由	2	22. 例外の復習	2
8. 抽象クラス	2	23. 例外処理と Try-Catch	2
9. 抽象メソッドのオーバーライド	2	24. 例外発生と例外インスタンス	2
10. インタフェースの基礎知識	2	25. 例外発生と throw	2
11. インタフェースの実装	2	26. 復習③	2
12. 多態性と曖昧解釈	2	27. 復習④	2
13. 多態性のメリット	2	28. 進級課題対策①	2
14. 復習①	2	29. 進級課題対策②	2
15. 復習②	2	30. Java 検定対策	2

その他

※実務経験がある教員が担当する科目である。

関連科目

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
オブジェクト指向設計		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	4	浅田 豊子
授業の目的・目標					
オブジェクト指向は現在主流となっているソフトウェアの開発技法で、UMLはその表記法である。「astah professional」を使ってUMLの主なダイアグラム (図) を記述できるようになる。					
授業の概要					
UMLの主なダイアグラム (図) について、用途と「astah professional」を使った表現を学習する。操作方法を覚えるだけでなく、「自分で考えて」表現することを心掛ける。					
成績評価の方法					
期末試験の得点と課題と学習意欲(出席状況等)で判定する。				期末試験	60%
				課題	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
「ゼロからわかる UML 超入門」 / 河合昭男 著 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
1. 「astah professional」設定 オブジェクト指向とは (概論)	2	13. インタフェース、課題	4		
2. オブジェクトとは	2	14. 集約、コンポジション、課題	4		
3. UMLとは、モデルとは	2	15. ユースケース図	2		
4. クラス	2	16. アクティビティ図、パッケージ図	2		
5. オブジェクト図、クラス図	2	17. 課題	2		
6. リンク、関連、多重度、課題	4	18. オブジェクト指向開発プロセス (概要)	2		
7. CRCカード、責務とメッセージ	2	19. レンタルショップの貸出管理システム (要求モデル)	4		
8. コミュニケーション図	2	20. レンタルショップの貸出管理システム (分析モデル)	4		
9. シーケンス図	2	21. プログラムから UML	2		
10. ステートマシン図、課題	4	22. オブジェクト指向開発事例	4		
11. クラスの分類、汎化関係、継承	2	23. 総復習	2		
12. 抽象クラス	2				
その他			関連科目		
課題を実施する。 実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR20
授業科目名		授業形態		学科・コース	
HTML基礎		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	吉田 幸央
授業の目的・目標					
Webサイト制作に必要なHTML5、CSS3によるコーディング方法を学習する。教員が提示するサンプルをもとに、Webページを1ページ作成できるようになることを目標とする。					
授業の概要					
あらゆるWeb制作において、HTML5、CSS3は必ず覚えるべき言語であり、Web系の基礎科目として非常に重要な授業となる。本授業では、サンプルページを制作しながら実践的に言語を学ぶため、欠課数が増えると、試験の結果に大きく影響する。ブラウザによる動作確認、教材の事典を用いながら、単語の意味を理解していくことが大切である。					
成績評価の方法					
筆記試験（またはWeb試験）の成績、出欠席状況で評価する。				出欠席	20%
				期末試験	80%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> できるポケット Web制作必携 HTML&CSS 全事典 改訂版 HTML Living Standard & CSS3/4 対応 (株式会社インプレス) その他、担当教員が準備した資料を使用する。 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	ボックスレイアウト				
2-1.	1カラム		4		
2-2.	2カラム		4		
3.	サンプルページ制作				
4-1.	header		4		
4-2.	nav		2		
4-3.	main		4		
4-4.	section・article		4		
4-5.	aside (sidebar)		2		
4-6.	footer		4		
その他				関連科目	
				<ul style="list-style-type: none"> HTML応用 HTML総合演習 	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
HTML応用		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	吉田 幸央
授業の目的・目標					
教員が提示するサンプルをもとに、レスポンス対応のWebサイトの構築ができるようになることを目標とする。					
授業の概要					
スマートフォンが普及する中で、デバイスに応じたレイアウトの最適化は習得が必須となる。この授業では、メディアクエリを使用したレスポンスの導入を行い、教員が準備したサンプルサイトの制作を行う。そのためには、1年次に学習したHTML基礎の知識が必要となる。					
成績評価の方法					
筆記試験（またはWeb試験）の成績、出欠席状況で評価する。				出欠席	20%
				期末試験	80%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・できるポケット Web制作必携 HTML&CSS 全事典 改訂版 HTML Living Standard & CSS3/4 対応 (株式会社インプレス) ・その他、担当教員が準備した資料を使用する。 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	レスポンスの基礎知識		2		
3.	トップページ制作		10		
4.	下層ページ制作 table・form など		10		
5.	レスポンス設定 メディアクエリ など		6		
その他			関連科目		
			<ul style="list-style-type: none"> ・HTML基礎 ・HTML総合演習 		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
HTML 総合演習		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	吉田 幸央
授業の目的・目標					
レスポンスに対応した Web システムの画面設計及び構築ができるようになることを目標とする。					
授業の概要					
様々なシステムが Web ベースで開発される中で、デバイスに応じたレイアウトの最適化はシステム構築の分野においても重要な要素となる。この授業では、HTML 基礎・HTML 応用で学んだ知識や技術をもとに、メディアクエリを使ってレスポンス対応した Web システムの画面設計及び構築を行う。					
成績評価の方法					
課題制作の成績、出欠席状況で評価する。				出欠席	20%
				課題制作	80%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・できるポケット Web 制作必携 HTML&CSS 全事典 改訂版 HTML Living Standard & CSS3/4 対応 (株式会社インプレス) ・その他、担当教員が準備した資料を使用する。 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2			
2. システム画面設計		8			
3. システム画面構築		20			
その他			関連科目		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ HTML 基礎 ・ HTML 応用 		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2021年度
		科目コード	T-SR23

授業科目名		授業形態		学科・コース					
Webアプリケーション基礎		講義・演習		高度ITビジネス科					
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
3	前期	必修	60	2	横田 一輝(20H) メトロ(40H)				
授業の目的・目標									
<ul style="list-style-type: none"> ・Java 言語を用い、サーバサイドプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・サーバサイドアプリケーションが作れることを目標とする。 									
授業の概要									
<p>授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視する。</p> <p>1年次に学習した Java 言語を使用したサーバー側で動作するプログラムの開発の仕方を学習する。Java 言語の基礎知識を前提に授業を進めていくので予め、復習しておくことが望ましい。ネットワークやセキュリティの知識も必要となる3年生の核となる授業である。</p>									
成績評価の方法									
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					<table border="1"> <tr> <td>課題</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>20%</td> </tr> </table>	課題	80%	その他	20%
課題	80%								
その他	20%								
使用テキスト・教材									
「スッキリわかるサーバレット&JSP入門」 国本大吾 (著)									

授業内容・授業計画			
	時間数		時間数
第1章 HTML と Web ページ	2	メイン画面の作成	2
第2章 Web の仕組み	2	ログアウト機能の作成	2
開発環境整備 サンプル実行	2	投稿・閲覧機能の作成	2
第3章サーバレットの基礎	2	エラーメッセージ表示機能作成	2
第4章 JSP の基本	2	第11章サーバレット実行とフィルタ	2
第5章フォーム	2	リスナーの登録	2
フォームを使ったプログラムの作成	2	第12章アクションタグとEL	2
第6章 MVC モデルと処理の遷移	2	インクルードとEL式	2
フォワード、リダイレクトプログラム	2	JSTL の使用	2
第7章リクエストスコープ	2	第13章JDBCプログラムとDAO	2
サンプルの実行	2	JDBCプログラム	2
第8章セッションスコープ	2	DAOパターンプログラム	2
第9章アプリケーションスコープ	2	DBを使ったサンプルアプリ	2
第10章アプリケーション作成	2	第14章設計手法の理解	2
ログイン機能の作成	2	試験対策	2
その他		関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
クラウドコンピューティング		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	60	1	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 仮想化技術や、クラウドサービスについてなどクラウドコンピューティングの基礎を学び、AWS Cloud Foundation を取得できる程度の知識を得る。(任意受験) AWS クラウドの定義、課金の考え方を学ぶ。 AWS を活用した設計、構築ができるようになる。 					
授業の概要					
<p>仮想化技術やクラウドサービスの基礎的な知識を学んだうえで、クラウドサービスで一番活用されている AWS について基本的な知識を習得します。そして実際にクラウド環境で業務を遂行する IT エンジニアが必要とされる設計、構築技術を学びます。</p> <p>積極的に授業に参加しましょう。</p>					
成績評価の方法					
課題の提出状況、発表内容、出席状況で評価します。状況に応じて日頃の課題についての配点を大きくします。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
AWSAcademy 教材					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
クラウドのコンセプトの概要	4	期末課題		4	
クラウドエコノミクスと請求	4				
AWS グローバルインフラストラクチャの概要	4				
AWS クラウドのセキュリティ					
ネットワークとコンテンツ配信	6				
コンピューティング	8				
ストレージ	10				
データベース	3				
クラウドアーキテクチャ	6				
AutoScaling とモニタリング	5				
	6				
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR26
授業科目名			授業形態		学科・コース
クラウドシステム構築演習			講義・演習		高度ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	後期	必修	90	1	田川 博規 遠藤 有貴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・AI (特に深層学習) について、なぜうまくいくのか中身を理解する ・AIプログラミングのために必要なPython基礎・応用までを学ぶ 					
授業の概要					
授業ではまずは「AIとは？」からスタートします。Pythonの基礎を学び、AIプログラミングを作成してみます。併せて理論も学びます。					
成績評価の方法					
課題の提出状況および内容、出欠席状況で評価。					課題 80% その他 20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスPython入門 ・AI活用についての教材は企業様にて作成の教材を利用。 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
Python基礎			4	イントロダクション	2
データ型と変数			4	パーセプトロン	4
入力を受け付けて計算する			2	NumPy基礎	4
if制御文			4	ニューラルネットワーク	6
while制御文			2	ニューラルネットワークの学習	6
オブジェクトと繰り返し			4	畳み込みニューラルネットワーク	4
モジュールと関数			4	演習課題	4
組み込み関数			4		
演習			2		
Webスクレイピングプログラム			4		
matplotlib演習			2		
NumPy演習			2		
手書き文字認識プログラム			4		
顔認識プログラム			4		
AI対戦リバーシプログラム			7		
その他				関連科目	
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR27
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク応用		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	小山 幸三郎
授業の目的・目標					
「ネットワーク基礎(1学年)」技術をベースに、実機によるシステム構築と事例解説によりお客様の実現場で要求される「ネットワークの応用技術」を修得する。					
授業の概要					
1)研修目的とシステム全体設計(お客様要件の確認とシステム全体設計) 2)TCP/IP 基本設計とクライアント/サーバ/L3-SW の実装 3)Web/dns/Mail サーバおよびftp/NTP サーバの設計・構築・実装 4)複数ネットワークへの構成変更と各機器パラメータ設計・構築・実装 5)トラブルシューティングによる基盤技術の再確認とプロジェクト全体での進行の重要性 6)まとめ(ネットワーク設計構築の要点とセキュリティ対策)					
成績評価の方法					
出欠席+「実機演習進捗結果(グループ&個人)」および「期末修了試験」で評価。				期末試験	%
				課題	%
使用テキスト・教材					
1)ネットワーク応用研修テキスト(AP5) 2)1学年使用教材「ネットワーク基礎(AP1~3),情報セキュリティ基礎(AP4)」<持参> 3)参考資料：TCP/IP 最高の指南書(日経 NETWORK)					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1.	研修目的と取得内容	2	12.	FTP サーバの設計構築と実装	8
2.	お客様要件の確認とシステム全体設計	4	13.	複数ネットワークへのシステム変更	6
3.	演習にあたっての事前設定変更	4	14.	トラブルシューティング	4
4.	L3SW への接続と初期設定	2	15.	まとめ	4
5.	クライアント/サーバのネットワーク設定	2			
6.	4.5の論理付け	4			
7.	Web サーバの設計構築と実装	3			
8.	DNS サーバの設計構築と実装	3			
9.	理解度確認テスト (演習 1,2)	4			
10.	メールサーバの設計構築と実装	5			
11.	7.8.9の論理付け	5			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ネットワーク基礎		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR28
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク構築演習		演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	植松 甫
授業の目的・目標					
<p>・ネットワーク応用で学んだ内容を活かし、情報通信機器、サーバなどを用い、小規模LANのデザイン、設計、構築方法について学習する。構築した小規模LANを活用し、運用のポイントについて学習する。本格的な仕事の進め方についても当演習で修得する。</p>					
授業の概要					
<p>授業は配布プリント中心におこなう。 情報通信機器実機に触れ学習を進めるため、積極的に参加すること。 放課後機器を利用して学習をするなど、日頃の授業の復習を行うことが望ましい。</p>					
成績評価の方法					
出欠席および期末試験などで評価。				成果物	30%
				期末試験	60%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
企業ネットワーク構築(日経NETWORK) 配布プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Linuxの基本的な使い方演習①		2	16. Cisco機器演習		2
2. Linuxの基本的な使い方演習②		2	17. Cisco機器演習		2
3. Linuxの基本的な使い方演習③		2	18. Cisco機器演習		2
4. Linuxの基本的な使い方演習④		2	19. Cisco機器演習		2
5. LAN構築(事前検討)		2	20. Cisco機器演習		2
6. LAN構築(物理設計)		2	21. Cisco機器演習		2
7. LAN構築(論理設計)		2	22. Cisco機器演習		2
8. LAN構築(論理設計)		2	23. Cisco機器演習		2
9. 応用情報技術者過去問題(設計)		2	24. Cisco機器演習		2
10. 応用情報技術者過去問題(設計)		2	25. Cisco機器演習		2
11. WAN構築		2	26. Cisco機器演習		2
12. ネットワーク機器の運用		2	27. Cisco機器演習		2
13. ネットワーク機器の運用		2	28. Cisco機器演習		2
14. ネットワーク機器の運用		2	29. まとめ		2
15. Cisco機器概要		2	30. まとめ		2
その他			関連科目		
※ネットワーク基礎・応用を復習しておくことが望ましい。			ネットワーク基礎、ネットワーク応用		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR29
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報セキュリティ演習		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ対策に必要な理論を学び、実践的な演習を行う。 脆弱性体験型の学習ツールを利用し、実際の攻撃やセキュリティ対策について学ぶ。 					
授業の概要					
Web アプリケーション、サーバ・デスクトップアプリケーション、ネットワーク、サーバの脆弱性について、学習する。最終的には、システム全体のセキュリティを担保できるスキルを習得する。					
成績評価の方法					
課題の提出状況、出欠席状況等の授業内態度で評価する。				期末試験	60%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
セキュリティ最強の指南書 (日経 NETWORK)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
復習		2	サイバー防災訓練②		6
クロスサイトスクリプティング		4	クラウドセキュリティ		2
クロスサイトリクエストフォージェリ		4			
SQL インジェクション		4			
ディレクトリトラバーサル		2			
OS コマンドインジェクション		2			
SSL,TLS 証明書の作成		4			
サイバー防災訓練①		6			
セッション管理の不備		4			
本人認証の不備		4			
バッファオーバーフロー		2			
HTTP ヘッダインジェクション		2			
クリックジャッキング		2			
DNS 関連セキュリティ		6			
メールヘッダインジェクション		4			
その他			関連科目		
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語Ⅲ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	内田 正章
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・C#言語を用い、ウィンドウズプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・C#を使い、ウィンドウズ GUI アプリケーションが作れることを目標とする。 ・アプリケーションの作成を通して、オブジェクト指向の基本的事項について再確認する。 					
授業の概要					
<p>授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視します。各回の授業のテーマに沿ってプログラムを作成し、作成状況/動作結果を教員に提示してもらいます。プログラミングの習得の早道は「習うより慣れろ」という気持ちが大事です。とにかくプログラムを入力し、動作確認しながらプログラミングを覚えましょう。</p>					
成績評価の方法					
課題の作成状況、発表内容で評価します。出欠席状況、受講態度も評価に加味します。				出欠席	40%
				課題内容	60%
使用テキスト・教材					
「ゴールからはじめるC#」菅原 朋子(著)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
1. Visual Studio の セットアップ	2	16. テキスト読み上げアプリの作成	2		
2. ビジュアルプログラミングの第1歩	2	17. 子ウィンドウ	2		
3. Visual C#の基本事項	2	18. コントロールの動的生成	2		
4. 簡単なアプリ作成 (挨拶)	2	19. 継承	2		
5. データ型、キャスト	2	20. 継承を利用するアプリの作成	4		
6. 簡単なアプリ作成 (税込金額)	2	21. アクセサー/プロパティ	2		
7. 数値チェック	2	22. マウスイベント、ファイル入出力	2		
8. 簡単なアプリ作成 (色の作成)	2	23. 付箋アプリの作成	2		
9. タイマーコンポーネント、サウンド	2	24. 課題制作	10		
10. タイマーアプリの作成	2	25. 制作課題の発表	2		
11. Visual C#プログラムの構造	2				
12. 乱数生成アプリの作成	2				
13. 配列、コントロールの配列	2				
14. スロットゲームアプリの作成	2				
15. オブジェクト指向、クラス	2				
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR31
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語Ⅳ		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	内田 正章
授業の目的・目標					
<p>・C#言語を用いウィンドウズプログラミングの応用的な事項を学習する。・C#を使いDBへのアクセス、ネットワーク対応アプリケーションが開発できることを目標とする。プログラム言語Ⅲで学習したC#の知識を応用して、データベースやネットワークを活用するアプリケーションへの機能アップを目指す。</p>					
授業の概要					
<p>授業では、システム設計書に基づき実際にプログラムを作成することを行います。プログラムⅣではデータベースへのアクセス、ネットワーク対応プログラムを中心に学習します。データベース、ネットワークの知識が必要とされますのでわからないことがあれば、適宜1年次に学習したことを復習することが重要です。</p>					
成績評価の方法					
課題の作成状況、提出状況で評価します。出欠席状況、受講態度も評価に加味します。				出欠席	40%
				課題内容	60%
使用テキスト・教材					
プリント資料 (その都度、学生サーバに提示)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. C# DB プログラミング基礎			2		
2. データベース(SQL Server DB)の作成			2		
3. SQL の復習			4		
4. Visual C# での DB アクセス			4		
5. データの DataGridView での表示			4		
6. 開発演習－ユースケース図、クラス図			4		
7. 開発演習－DB/テーブル定義			4		
8. 開発演習－画面遷移			2		
9. 開発演習－登録/照会/更新			6		
10. 開発演習－アプリロジック			12		
11. C# ネットワークプログラミング基礎			12		
12. まとめ			2		
13. 課題提出			2		
その他			関連科目		
<p>※DB、ネットワークの知識が必要とされるので、適宜関連科目の復習が重要。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>			プログラム言語Ⅲ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR32
授業科目名		授業形態		学科・コース	
データベース応用		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	指導教員A
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ローカル環境のMySQLを利用し、SQLの実操作を体験する。 SQL言語の概念、操作、用語をDB操作から修得する。 MySQLを使用しながらDB設計の基本を習得する。 					
授業の概要					
<p>授業では、パソコン上に実際にデータベースを導入して授業の演習に活用する。 リレーショナルモデルを理解し、より効率的にDB設計を行い、適切にSQLを使いこなすために必要な知識を習得する。そのために、座学+演習を繰り返しながら授業を進めていく。</p>					
成績評価の方法					
期末試験、出欠席状況で評価します。				出欠席	40%
				期末試験	60%
使用テキスト・教材					
<p>スッキリわかるSQL入門 第2版 ドリル222問付き!(スッキリシリーズ) インプレス 中山清喬(著), 飯田理恵子(著), 株式会社フレアリンク(監修)</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. イントロダクション			2		
2. データベースとSQL			2		
3. データベース環境セットアップ			4		
4. テーブルからデータを取り出す			4		
5. ソートと演算			8		
6. データの追加・更新・削除			8		
7. 集計とサブクエリ			8		
8. データベースオブジェクトの作成と削除			8		
9. 複数のテーブルを扱う			8		
10. データベース設計			8		
その他			関連科目		
※実務経験がある教員が担当する科目である。			データベース基礎		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワーク OS 基礎		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	指導教員A
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> Linux のインストール、各種設定方法、Linux コマンド、Shell コマンドを中心に学ぶ。 シェルスクリプトを一人で作成できるようになる。 					
授業の概要					
Linux は、サーバ用途から、家電製品、情報機器の組み込み用途など多くの環境で利用されている。授業では、実際に Linux サーバを利用し、Linux の基本的な操作を学習する。					
成績評価の方法					
課題の提出状況、出欠席状況等の授業内態度で評価する。				期末試験	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
・「新しい Linux の教科書」三宅英明、大角祐介 (著)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Linux を使ってみよう		2	16. シェルスクリプトを書こう		2
2. シェルって何だろう？		2	17. シェルスクリプトの基礎知識		6
3. シェル便利な機能		2	18. シェルスクリプトを活用しよう		8
4. ファイルとディレクトリ		2			
5. ファイル操作の基本		6			
6. 探す、調べる		4			
7. 復習		6			
8. テキストエディタ		2			
9. bash の設定		2			
10. ファイルパーミッション、スーパーユーザ		2			
11. プロセスとジョブ		2			
12. 標準入出力とパイプライン		2			
13. テキスト処理		2			
14. 正規表現		2			
15. 高度テキスト処理		4			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR35
授業科目名		授業形態		学科・コース	
サーバ構築演習		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	遠藤 有貴
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> CentOS を利用し、SSH サーバ、DNS サーバ、Web サーバ等を構築する。 構築したサーバのセキュリティ対策について、学ぶ。 					
授業の概要					
<p>授業では、サーバを実際に構築し、その環境を活用し学習を進める。定期的に課題を課すので、納期までの提出が義務付けられる。即戦力の習得には、「習うより慣れる」という気持ちが大事。とにかく環境に触れ、技術の習得するよう心掛けること。</p>					
成績評価の方法					
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。				期末試験	60%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
「CentOS7で作るネットワークサーバ構築ガイド(第2版)」サーバ構築研究会 (著)					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
復習		2	課題演習	8	
LVM		2			
CentOS のインストール		4			
パッケージのメンテナンス		2			
SELinux		2			
SSH サーバ構築		4			
パケットフィルタ		4			
DNS コンテンツサーバ構築		8			
WWW サーバ構築		8			
FTP サーバ構築		4			
メールサーバ構築		10			
ファイルサーバ構築		2			
その他					関連科目
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR36
授業科目名		授業形態		学科・コース	
制御プログラム基礎		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	和田 弘
授業の目的・目標					
マイコン利用による制御プログラムについて理論・実習・グループ演習を通して学ぶ。 目標として自分で開発企画、プログラム作成、結果発表をできることを目標とする。					
授業の概要					
電子回路の基礎知識を学び、ハード回路の接続もできるようにする。 そのハードウェアを制御するプログラムを構築する。 プログラムの大きさにかかわらず、自分の考えを構築できることがポイントになる。					
成績評価の方法					
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、等を総合評価した上で決定する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
ラズベリー・パイで遊ぼう (ラトルズ)、エントリーキット等 PC (各自持参要) にて下記HPを中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。 [授業用 Web HP] http://www13.plala.or.jp/NTCSMSI/xdnj.html 、Teams					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業内容・目標確認・教材確認	2	16. 音を出す_Ch6-7			2
2. 電子工作/部品/回路の基礎>1.1	2	17. 「PWM&ブザー」_Ch6-7			2
3. ラズベリー・パイで遊ぼう_Ch1	2	18. 1-Wire (温度測定)_Ch6-8			2
4. ラズベリー・パイを導入しよう_Ch2	2	19. I2C (気圧測定)_Ch6-9			2
5. ラズベリー・パイの導入・環境設定_Ch2	2	20. I2C (LCD)_Ch6-10			2
6. ラズベリー・パイを使ってみよう_Ch3	2	21. 机上説明_Ch6-11/12			2
7. マルチメディアを楽しもう_Ch4	2	22. スマホでGPIO制御-1_Ch7			2
8. 周辺機器を接続しよう_Ch5	2	23. スマホでGPIO制御-2_Ch7			2
9. 電子回路入門	2	24. javascript 制御_Ch7-2/3/4			2
10. 電子工作全般_Ch6-1/6-2	2	25. 机上 (リアルtweet)_Ch8-1			2
11. LEDの点灯を制御しよう_Ch6-3	2	26. シャットダウンボタン_Ch8-2			2
12. LEDを点灯させてみよう_Ch6-3+5	2	27. 人感センサー_Ch8-3			2
13. SW&LED_Ch6-4+5	2	28. 予備日-1			2
14. PWMでLED制御_Ch6-6	2	29. 予備日-2			2
15. 「PWM&LED」_Ch6-6	2	30. 基礎編のまとめ、応用編の準備			2
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR37
授業科目名		授業形態		学科・コース	
制御プログラム応用		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	和田 弘
授業の目的・目標					
マイコン利用による制御プログラムについて理論・実習・グループ演習を通して学ぶ。 「ラジコンカー制御」を通して、開発企画、プログラム作成、結果発表をできることを目標とする。					
授業の概要					
基礎編の総復習を行い、全員のスキルレベルあわせを行う。 ラジコンカーの制御プログラムにより「動作制御」の基本を学ぶ。 グループ演習により「企画力」「チームワーク力」を養う。					
成績評価の方法					
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、グループ作業、等を総合評価した上で決定する。					課題 100%
使用テキスト・教材					
ラズベリー・パイで遊ぼう (ラトルズ)、エントリーキット、ラジコンカー等 P C (各自持参要) にて下記HPを中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。 [授業用 Web HP] http://www13.plala.or.jp/NTCSMSI/xdnj.html 、Teams					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業内容・目標確認・教材確認・基礎の復習	2	16. 仕様書作成-3			2
2. 基礎の復習 (G P I O) _Ch7	2	17. 設計書作成-1			2
3. 基礎の復習 (PWM) _Ch6-6	2	18. 設計書作成-2			2
4. 基礎の復習 (1-W i r e) _Ch6-8	2	19. 設計書作成-3			2
5. 基礎の復習 (I 2 C) _Ch6-9	2	20. プログラミング-1			2
6. 予備日	2	21. プログラミング-2			2
7. ドキュメントの書き方	2	22. プログラミング-3			2
8. 演習制御プログラム-1	2	23. テスト・修正-1			2
9. 演習制御プログラム-2	2	24. テスト・修正-2			2
10. 演習制御プログラム-3	2	25. テスト・修正-3			2
11. 演習制御プログラム-4	2	26. 報告資料作成-1			2
12. 演習制御プログラム-5	2	27. 報告資料作成-2			2
13. グループ分け・課題説明	2	28. 報告資料作成-3			2
14. 仕様書作成-1	2	29. 発表会-1			2
15. 仕様書作成-2	2	30. 発表会-2			2
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR38
授業科目名		授業形態		学科・コース	
モバイルプログラム基礎		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Android Studio を使い、スマホプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・ Kotlin 言語を使い、スマホアプリケーションが作れることを目標とする。 					
授業の概要					
<p>授業では、パソコン上でスマホアプリのプログラムを作成しエミュレータを介して実行する。最後に課題を課すので、納期までに提出が義務付けられる。</p> <p>プログラミングの習得の早道は「習うより慣れろ」という気持ちが大変である。</p> <p>とにかくプログラムを入力し、動作確認しながらプログラミングを覚えよう。</p>					
成績評価の方法					
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。				課題	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
はじめての Android プログラミング 第5版					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
Android Studio の基本操作	2	課題演習	8		
ビューとアクティビティ	2				
イベントとリスナ	4				
リストビューとダイアログ	2				
レイアウト	2				
画面遷移と Intent クラス	4				
Kotlin を使う	4				
じゃんけんアプリを作成する	8				
体型記録アプリを作成する	8				
カウントダウンタイマーを作成する	4				
スケジューラアプリを作成する	10				
JSON データを読み込む	2				
その他				関連科目	
※单元ごと演習を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR39
授業科目名		授業形態		学科・コース	
モバイルプログラム応用		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・「モバイルプログラム基礎」の継続授業であるが、開発ツールを限定せずに、アンドロイドアプリ+αの授業とする。 ・WebAPI、センサー、Bluetooth,Wifi 等を利用したアプリが作れることを目標とする。 					
授業の概要					
授業では、スマホ、タブレット等実装されているデバイス、センサーを利用するアプリの作成を重視する。定期的に課題を課すので、納期までに提出が義務付けられる。プログラミングの習得の早道は「習うより慣れる」という気持ちが大変。とにかくプログラムを入力し、動作確認しながらプログラミングを覚えよう。					
成績評価の方法					
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。				課題	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
Android Studio 開発振り返り			3		
通信系アプリ開発 1 Wifi			3		
通信系アプリ開発 2 BT			3		
JSON データの活用			6		
API 活用			6		
地図アプリ・GPS 機能			6		
課題開発環境&テーマ策定			3		
課題演習			30		
その他			関連科目		
※单元ごと演習を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR41
授業科目名		授業形態		学科・コース	
課題制作演習 I		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	植松 甫
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・Java を使ったシステム開発を学習する。 ・初めてのデータベース連携を体験し、システムの基本構成を中身まで理解する。 ・システム設計から開発までの一連の作業を体験する授業である。 					
授業の概要					
<p>授業は専用のオリジナルテキストと演習中心に行う。 最後に検索システムを完成させ、外部講師の前でプレゼンを行う。</p>					
成績評価の方法					
出欠席、提出課題、プレゼンテーションで評価。 評価は外部講師（企業の方）が行う。				制作課題	40%
				プレゼン	40%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
「Java 開発演習」インフォテックサーブ 教員オリジナルプリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	システム概要説明		4		
2.	要件定義まとめ、ユースケース図		4		
3.	入出力設計、DB設計		4		
4.	クラス概要設計		6		
5.	シーケンス図、その他ダイアグラム		6		
6.	詳細クラス図、内部外部レビュー		6		
7.	結合テスト仕様書		2		
8.	コーディング		14		
9.	単体テスト、デバッグ		2		
10.	結合テスト		2		
11.	適格性確認テスト、検収		2		
12.	振り返り、成果発表準備		4		
13.	成果発表会		4		
その他				関連科目	
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
課題制作演習Ⅱ		演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	90	3	遠藤 有貴 小山 幸三郎
授業の目的・目標					
個々のネットワーク機器やサーバ機器に対する機能理解や、基本操作・設定スキルに加え、各種ドキュメントに対する理解力を演習を通じて身に着ける。					
授業の概要					
ユーザからLAN構築依頼を受けたことを前提に、実際にサーバ設計・構築からネットワーク設計・構築の順にケーススタディ形式で作業を実施していき、小規模LANを実際に構築していく。					
成績評価の方法					
出欠席および提出課題などで評価。				出欠席	40%
				課題	60%
使用テキスト・教材					
「インフラシステム構築演習」インフォテックサーバ 配布されたプリント					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. オリエンテーション、各種ドキュメント説明	2	23. コンフィグの作成	2		
2. 顧客要件の確認	2	24. コンフィグの作成	2		
3-4. 要件定義書	2	25. ネットワーク詳細設計書の理解と作成	2		
5-6. 基本設計書の理解と作成	2	26. ネットワーク詳細設計書の理解と作成	2		
7-10. サーバ詳細設計書の作成	2	27. ネットワーク詳細設計書の理解と作成	2		
11. 検証用サーバの構築	2	28. ネットワーク構築	2		
12. 検証用サーバの構築	2	29. ネットワーク構築	2		
13-15. サーバ構築手順書の作成	2	30. ネットワーク構築	2		
16. 本番用サーバの構築	2	31. ネットワーク構築	2		
17. 本番用サーバの構築	2	32. ネットワーク構築	2		
18. 本番用サーバの構築	2	33. ネットワーク構築	2		
19. サーバ単体テスト	2	34-36. ネットワーク障害テストの実施	6		
20. サーバ単体テスト	2	37-39. システム結合テストの実施	6		
21. サーバ結合テストの実施	2	40-42. 障害報告書の作成、トラブルの修正	6		
22. ネットワーク基本設計書の理解と作成	2	43-45. 成果発表	6		
その他		関連科目			
※実務経験がある教員が担当する科目である。		ネットワーク基礎、ネットワーク応用、 ネットワーク構築演習			

シラバス (授業概要)				年度		
				2021年度		
時間数は45分換算				科目コード		
				T-SR44		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
企業課題II			講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
4	通年	必須	120	2	村松 芳博 吉田 幸央 横田 一輝	
授業の目的・目標						
<p>現代のビジネスパーソンに求められる能力に「会計の知識：財務諸表が読める」がよくあげられる。本講座では、財務3表の見方、事業計画書の作成の仕方を講義・演習を通して習得することを目的としている。</p> <p>Webシステムにおいて、アイコンや画像を使用するケースを想定し、その編集方法を学び、システム内に活用できるようになることを目標とする。</p>						
授業の概要						
<p>財務3表については、演習（読み方・簿記演習等）を通して理解していく。事業計画書についてはビジネスプランコンテスト（全国専門学校情報教育協会主催）を目標に、各自のビジネスプランを通して作成の仕方を理解していく。</p> <p>ユーザビリティやアクセシビリティに配慮するうえで、アイコンや画像は大きな意味を持つ。この授業では、ユーザが使いやすいシステムを構築するために、Photoshopを使った画像の編集方法を学ぶ。</p>						
成績評価の方法						
<p>演習課題の評価点（提出物については、別途指示する）と授業中の学習意欲を併せて判定する。</p> <p>課題制作の成績、出欠席状況で評価する。</p>					<p>学習意欲 30%</p> <p>課題 70%</p>	
使用テキスト・教材						
<p>配布資料・「事業計画書」（日本能率協会マネジメントセンター）</p> <p>デザインの学校 これからはじめる Photoshop の本（技術評論社）</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 財務諸表の種類・貸借対照表			2	1. Photoshopの使い方		2
2. 損益計算書			2	2. 画像の補正		4
3. キャッシュフロー計算書			2	3. 画像の加工		4
4. 財務諸表読み方演習			2	4. 画像の合成		4
5. 簿記の基本			2	5. 課題制作		16
6. 財務3表を演習を通して理解			4			
7. ビジネスプランの作成			4			
8. 事業計画書の作成			30			
9. ビジネスプランコンテスト審査用紙			8			
10. ビジネスプランの発表準備			4			

その他	関連科目
※実務経験のある教員が担当する科目である。	

沼津情報・ビジネス専門学校

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR45
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義 I		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	90	6	植松 甫
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、IT パスポート試験、Java プログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習		時間数	90		時間数
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR46
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義Ⅱ		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	120	8	各担当
授業の目的・目標					
各種情報処理技術者試験や、Java プログラミング能力認定試験等の資格試験の合格を目指した対策授業です。					
授業の概要					
この授業はすべてに科目の総まとめの意味を持っています。ここでしっかり学習することで、ばらばらだった科目がしっかりつながり、さらなる理解につながります。受講後、目標資格を取得することでさらなる自信が生まれ、自分が成長していることを実感できる授業となっています。					
成績評価の方法					
出欠席で評価。				出欠席	100%
使用テキスト・教材					
各種情報技術者認定試験 問題集					
授業内容・授業計画					
1-60. 各分野の対策授業		時間数	120		時間数
その他				関連科目	
※絶対合格するという強い意志を持って勉強に臨んでください。				情報処理特別講義Ⅰ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR47
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義Ⅲ		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	120	8	各担当
授業の目的・目標					
各種情報処理技術者試験や、Java プログラミング能力認定試験等の資格試験の合格を目指した対策授業です。					
授業の概要					
この授業はすべてに科目の総まとめの意味を持っています。ここでしっかり学習することで、ばらばらだった科目がしっかりつながり、さらなる理解につながります。受講後、目標資格を取得することでさらなる自信が生まれ、自分が成長していることを実感できる授業となっています。					
成績評価の方法					
出欠席で評価。				出欠席	100%
使用テキスト・教材					
各種情報技術者認定試験 問題集					
授業内容・授業計画					
1-60. 各分野の対策授業			時間数 120		時間数
その他				関連科目	
※絶対合格するという強い意志を持って勉強に臨んでください。				情報処理特別講義Ⅰ、情報処理特別講義Ⅱ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR48
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義IV		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、IT パスポート試験、Java プログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習		時間数	90		時間数
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義V		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	90	2	横田 一輝
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、IT パスポート試験、Java プログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習		時間数	90		時間数
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR50
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報特別講義VI		講義		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	90	6	横田 一輝
授業の目的・目標					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験、Javaプログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。					
授業の概要					
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。					
成績評価の方法					
出欠席及び合格することなどで評価。				出欠席	90%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ) 					
授業内容・授業計画					
1. 問題練習			時間数 90	時間数	
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR51
授業科目名		授業形態		学科・コース	
海外研修		演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	後期	必修	60	1	植松 甫
授業の目的・目標					
国内だけではなく、海外の技術や文化に触れ、国際人・IT技術者としてのレベルを高める。様々な体験からこれまで学習した英語力や最先端技術が通用するのか、確認する目的も含む。					
授業の概要					
言語の違いはもちろんであるが、国際人としての振る舞い、日本人代表としての姿勢を保つことも求められる。特に、文化の違いを受け入れ、人種を超えた多様な人間の存在に理解を示すことが重要である。海外独特の仕来りに順応し、言語の困難があっても対応できる対応力を身に付けて欲しい。					
成績評価の方法					
出席点で評価。				出席	100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1. 海外訪問		時間数	60		時間数
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SR52
授業科目名			授業形態		学科・コース
卒業研究			演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	後期	必修	150	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
今まで学習した内容を活かして、各自でテーマを決め研究・開発を行う。					
授業の概要					
研究・開発した内容を卒業論文として期限までに提出を義務付ける。					
成績評価の方法					
論文、発表の内容で評価。					研究内容 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1. 各研究作業			時間数 150		時間数
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SS01
授業科目名		授業形態		学科・コース	
インターンシップ		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	90	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
「各種コンテスト課題制作」との必須選択科目である。 内定先企業等の要望によりインターンシップが必要な学生はこちらの科目を選択する。					
授業の概要					
企業等へ出向き企業担当者の指示に従い作業をおこなう。事前に企業と学校とのインターンシップの連携契約を結ぶこと。原則、1回/週は登校し報告書の提出が義務付けられる。 インターンシップが45コマに満たない場合は、「各種コンテスト課題制作」にて充当する。					
成績評価の方法					
インターンシップの終了、報告書の提出が義務付けられる。					報告書 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1. インターンシップ			時間数 90	時間数	
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2021年度
				科目コード	T-SS02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
各種コンテスト課題制作		講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	90	1	横田 一輝
授業の目的・目標					
<p>必須選択科目「インターンシップ」とどちらか選択をする科目である。 プレ卒研の位置づけで作品の制作を行う。班編成をとり、各班でテーマを絞り開発をすすめる。作成された作品は経済産業省主催「U22プログラミングコンテスト」に応募する。</p>					
授業の概要					
<p>3年間学習した知識を基に一から作品作りをします。プレ卒研の気持ちで取り掛かっていただきたい。 指導教員として教えて頂いた専門の講師が代わるがわりに指導に入るので、分からないところがあれば適宜質問をしてほしい。 延長上として卒研を見据えてください。</p>					
成績評価の方法					
成果物で評価。				成果物	100%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
各種作業		時間数			時間数
その他		関連科目			
。					